

岡崎市内大型店販売動向調査結果〔18店舗〕（平成30年4月分）

対前年同月比1.5%減。2ヶ月ぶりに前年実績を下回る！

岡崎市内の主要スーパー・百貨店18店舗を対象とした「大型店販売動向調査（平成30年4月分）」の調査結果がまとまった。それによると販売総額は66億8,560万円、対前年同月比1.5%減、2ヶ月ぶりに前年同月を下回った。

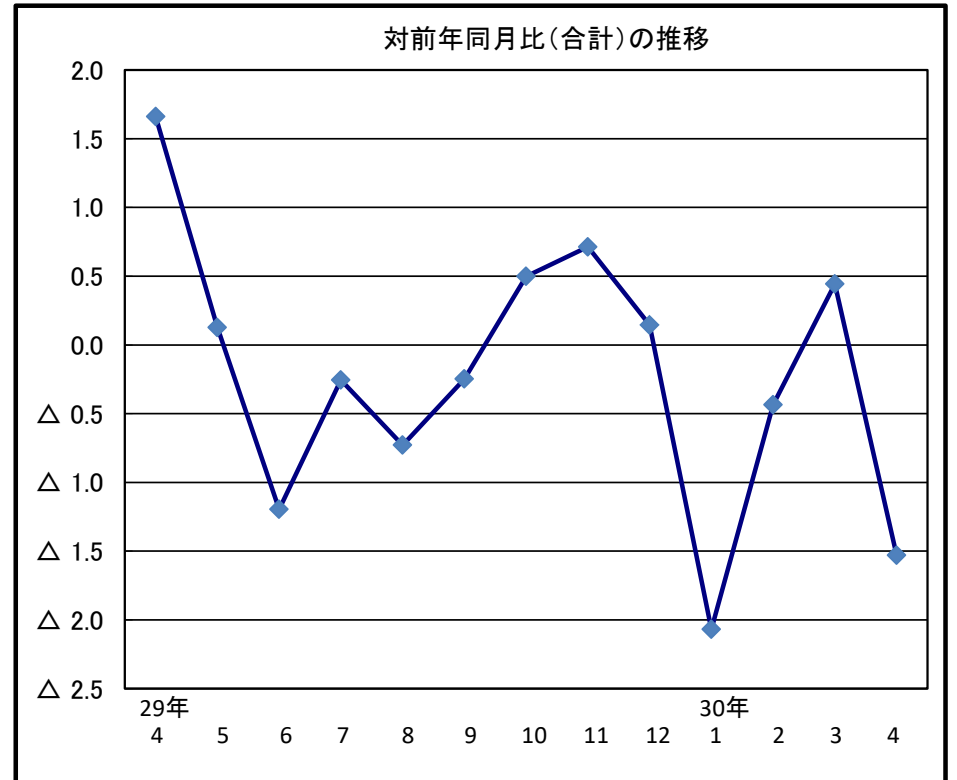
部門別の結果をみると、主力の「衣料品」は、気温が中旬以降に上昇し、春夏衣料が好調であったが、前半の天候不順の影響を受け、2.2%の減で2ヶ月ぶりにマイナスとなった。また「食料品」は、お花見需要の前倒しや野菜価格の高騰の落ち着きに加え、GW前半の晴天による客足の鈍りが影響し、0.6%減で2ヶ月連続でマイナスとなった。

一方、全国では、スーパーは既存店ベースで前年同月比1.2%減で2ヶ月連続のマイナス、また、百貨店は0.7%増で2ヶ月連続のプラスとなった。

客単価の低迷が長期化する中、大手企業を中心に夏季賞与の増加が見込まれており、回復基調の個人消費を後押しする中元商戦をはじめ夏のセールに向けた訴求力を高める売場づくりが注目される。

<調査にご協力いただいた、ご担当者様の“生の声”>

- ☆気温による後押しにより、衣料品、寝具などの季節商品が顕著でよかった。お客様の財布の紐はまだまだ厳しいが、特売・商品の打ち出し等をすれば勝負になる月であった。
- ☆衣料品は、気温への対応、学需対応がタイムリーにでき、売上増となった。食料品は、去年はディスカウントの影響で苦戦したが、質を前面に打ち出し販促で回復。住居関連は、去年のゲーム機特需の売上が催事などの付加でカバーした。
- ☆衣料品は、気温が高めに推移したことで好調であった。前月に引き続き、生鮮食品は比較的順調だが、ドラッグストア等の競合の影響を受けて加工食品や雑貨は伸び悩んだ。
- ☆去年は、4月の前半でセールを実施し、今年は4月初旬からプロパー(定価商品)強化を図った結果、客単価は昨年並みに好調。GW前半は、快晴のため客数が大幅に減少し、飲食や食品に大きく影響した。
- ☆建築資材など価格変動品の売上が好調。期末需要の余波とそれに準じた先行投資が功を奏した結果となった。レジャー用品などホリデー商品も前年越えて、GW前半は予定通りの売上だった。一方で、家庭用品・消耗品の売上に陰りが見られ、休暇明けの対策が急務である。



	月	衣料品		身の回り品		家庭用品		雑貨		食料品		飲食・サービス		その他		合計	
		販売額	前年比	販売額	前年比	販売額	前年比	販売額	前年比	販売額	前年比	販売額	前年比	販売額	前年比	販売額	前年比
平成29年	4月	149,102	△ 1.8	54,593	△ 2.8	38,697	23.4	52,036	△ 10.0	277,667	△ 2.8	64,402	4.4	42,452	80.9	678,949	1.7
	5月	146,273	△ 3.2	55,299	0.7	42,185	26.8	53,705	△ 9.5	281,701	△ 4.5	60,787	△ 4.8	44,104	72.8	684,054	0.1
	6月	144,233	△ 3.2	56,507	△ 0.4	36,090	3.6	53,255	0.9	278,420	△ 5.4	55,452	△ 8.0	35,548	81.8	659,505	△ 1.2
	7月	159,479	△ 2.4	64,760	△ 2.5	47,139	20.6	56,554	△ 11.0	275,730	△ 5.5	64,132	△ 1.5	42,357	87.9	710,151	△ 0.3
	8月	123,501	△ 2.8	57,990	1.8	43,298	16.7	54,937	△ 12.6	296,664	△ 3.3	62,793	△ 7.5	41,777	53.1	680,960	△ 0.7
	9月	124,744	0.8	49,104	0.2	36,868	26.2	47,747	△ 10.2	271,465	△ 4.2	55,285	△ 1.5	32,997	31.0	618,210	△ 0.2
	10月	155,605	△ 1.1	51,260	△ 1.2	37,029	21.9	49,530	△ 13.5	273,023	△ 2.4	56,104	△ 3.1	35,812	72.9	658,363	0.5
	11月	163,077	△ 2.8	54,235	△ 3.4	40,584	21.5	54,782	△ 11.0	285,214	△ 2.1	56,293	2.4	36,734	77.2	690,919	0.7
	12月	176,162	△ 2.2	67,400	△ 2.6	52,046	18.4	67,142	△ 15.7	315,754	△ 1.1	66,370	1.0	39,445	56.8	784,319	0.1
平成30年	1月	170,804	△ 2.0	67,219	1.1	42,850	18.6	56,111	△ 12.6	327,699	△ 5.8	66,666	△ 1.3	37,887	29.7	769,236	△ 2.1
	2月	106,582	△ 2.3	46,909	△ 0.8	32,710	2.8	48,304	△ 3.2	286,568	0.2	54,482	△ 0.3	28,057	1.8	603,612	△ 0.4
	3月	147,728	12.1	57,527	△ 1.9	38,329	0.8	55,626	△ 21.3	274,929	△ 0.9	67,986	7.3	39,850	1.9	681,975	0.4
	4月	145,847	△ 2.2	53,655	△ 1.7	37,532	△ 3.0	50,570	△ 2.8	276,085	△ 0.6	62,480	△ 3.0	42,391	△ 0.1	668,560	△ 1.5

【注】 1. 販売額の単位は万円。 2. 前年比の単位は%(△はマイナス)。 3. 平成26年12月以降、一部の調査対象店舗で売場構成の見直しがあり、部門別の前年比に大幅な差異があります。